



特別指令!



ファイアーXとともに 火災に備えよう

私の名前はファイアーX。火災予防をPRするために生まれた大府市消防本部のヒーローだ！
火災はみんなの身近に潜んでいる。例えば、窓際に置いてあるガラスの花瓶。直射日光を受け、
ガラスがレンズの働きをして光が一点に集中し、床から発火ということも実際にあった事例だ。
今日は私と一緒に怖い火災の特徴や、防火対策を学んでいこう！

消防本部予防課 ☎(47)2208



身近に潜む 火災の危険

大切なものを奪ってしまう火災を起こさないためには、まずは火災について知ることが大切だ！ 全国の統計データや事例から火災の特徴や原因について知ろう！

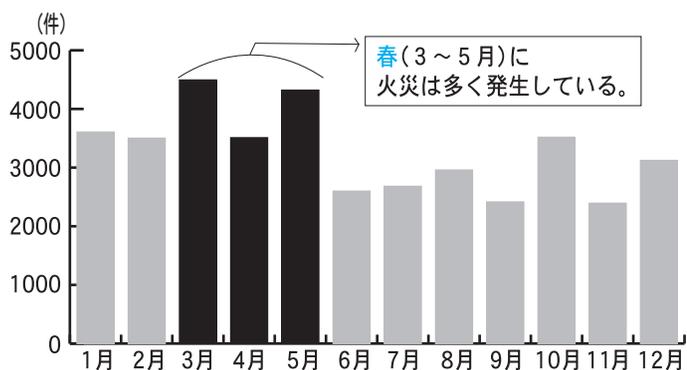
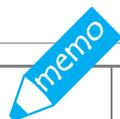


図 全国月別火災の発生状況
総務省「平成27年(1~12月)における火災の状況」

暖房などの火器をよく使う冬が過ぎたからといって、油断をしてはいけません！
春は四季の中で、最も空気が乾燥する季節。空気が乾燥していると、火災は起きやすくなるんだ(左図参照)。
また、低気圧が発達しやすい春は、台風並みの突風が吹くことがある。強い風は、火災を周囲に燃え広げてしまうんだ。原因はそれだけではないが、これからの季節、より一層、火の取り扱いには注意してくれ！

春は火災にご用心！



他にもあるぞ！ 意外な火災原因

- 電気こたつの石英管にタオルケットが接触し、発火。
- 魚焼きグリル内に焼きかすがたまり、使用時に発火。
- 電気スタンドの熱により、近くに置いていた本から発火。
- こんろの火が布巾に燃え移り、発火。
- ラジコン用バッテリーを充電中に発火。
- 車のヘッドライトのランプの取り付けがずれていて、ライトの熱で樹脂から発火。
- 使い終わった乾電池同士がショートし発火。
- ペットのハムスターがコンセントをかみ切ったことにより、ショートし発火。
- 電子レンジ食品の調理時間を誤り、加熱しすぎて食品から発火。

火災の原因で毎年、上位に入るのが「放火」「たばこ」「こんろ」だ(下表参照)！
これらの火災の意外な共通点は「整理整頓ができていないこと」だ！ 「家の周り」が整理整頓されていないと放火魔に狙われるぞ。「部屋」や「キッチン」が、整理整頓されていないと、火が周りのものに燃え移り、出火してしまうぞ。周りに燃えやすいものがないか、今一度確認してくれ！

**主な火災原因の
意外な共通点**

表 全国の火災原因ランキング
総務省「平成27年(1~12月)における火災の状況」

1	放火	4033件
2	たばこ	3638件
3	こんろ	3497件
4	放火の疑い	2469件
5	たき火	2305件
	その他	2万3169件
	合計	3万9111件

2 Mission



STOP! 火災原因TOP3

火災原因の上位にある「放火」「たばこ」「こんろ」による火災を未然に防ぐ方法を紹介するぞ！

寝たばこは絶対ダメだ！



たばこが原因の火災は、「消したつもり」という油断から起きる。たった1本のたばこが大切な命や財産を奪っ

たばこ

油断せずに再確認！

そのたばこ本当に消えている？

てしまうこともあるから、たばこを吸った後は火が消えていることを絶対に確認しよう。

確実にたばこの火を消すためには、水を入れた灰皿を使うことが大切だ。空き缶などを灰皿として使っていないだろうか？ 消したつもりもこの火が周りのものや他の吸い殻に燃え移って火事になることがあるぞ！

また、布団でたばこを吸うのは絶対にやめてくれ！ 布団に火種が落ちると、炎が出ないままくすぶり続けて、気づかないうちに燃え広がる可能性がある。そのまま寝てしまうと、煙により一酸化炭素中毒になることがあるぞ！

放火

要注意！ 燃えやすいものを放置していませんか？

放火対策で最も重要なのは、家の周辺や人が侵入しやすい場所に新聞や雑誌などの燃えやすいものを放置しないことだ！ 倉庫などに燃えやすいものをしまふときも、しっかりと施錠しよう。ごみを決まった時間に出すことも大切だぞ。

燃えやすいものを外に放置してはいけないぞ。



こんろ

カセットコンロ、正しく使っていますか？

こんろが原因の火災の中で、最近増えているのが、カセットコンロの使い方や誤ったために起きた火災だ。まず、ガスボンベが正しく装着されているかを確認してほしい。ボンベが緩んでいると、ガスが漏れて爆発することがあるぞ。また、ボンベの上まで覆ってしまうような鍋や鉄板を使うのも危険だ。鍋や鉄板の熱がボンベに伝わってしまう、爆発することがあるぞ！

危ない！ ガスボンベがずれているぞ。



3 Mission



大切な命を守る 防火機器

火災予防に役立つ「防火機器」の紹介をするぞ！ 防火機器の正しい取り扱い方を知って、より安全な生活を手に入れよう！

住宅用火災警報器(住警器)は煙を感じて警報音で危険を教えてくれる防火機器だ。毎年、住警器の活躍で多くの火災を未然に防ぐことができているぞ。市では平成20年6月1日から全ての住宅に住警器の設置を義務付けていて、寝室と階段の上部に設置する必要があるぞ。

住警器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じしなくなることもある。設置から10年を超えているものは右の方法で作動試験を行おう。警報音や音声が届けば問題ないぞ。

詳細は、予防課に問い合わせみてくれ。高齢の方で設置が困難な場合も、予防課に相談しよう！

やってみよう！ 住警器の作動試験！

ひも式



ひもを引く

ボタン式



ボタンを押す



火災の危険を知らせるぞ



消火器の使い方は 簡単3ステップ！



ピン！

ピンを抜く！



ポン！

ホースを外して
火元に向ける！



パン！

レバーを握る！



左の写真は、消火器の使い方を紹介したものだ。3ステップで簡単に使うことができる上に、火災のときにとても頼りになるんだ！ 市内でも、ぼやで済んだ火災の多くは消火器によって消火されているんだ。被害を最小限に食い止めるため、家に置いておこう。また、いざというときに慌てないよう、

地域の防災訓練などで練習しておこう。古くなった消火器を使うのは、破裂の可能性があり、かえって危険だ。使用期限の過ぎたものは使わないようにしましょう。消火器は、家庭ごみで捨てることのできないので、買い替えをした場合は、消火器を販売している店舗で廃棄方法を相談してくれ。



使い方は簡単。初期消火に非常に有効だぞ！

1
Special



おしえて！ ファイアーX

みんなから寄せられる「よくある質問」にファイアーXがズバリ答えていくぞ！

みんなの頭を悩ませる疑問をしっかりと解消しよう！

私は小学生です。火事を見つけたときはどうしたらいいですか？

A

家事を見つけたら、まず「火事だー」と叫び、周りの大人に知らせるんだ！ 子どもだけで消火活動を行うのはとても危ないから、無理に消火活動をしてはいけません。炎から離れつつ、周りの人たちに知らせてください。



火事だー
誰か助けてくださいー

この前「消防署の方から来た」と話す人が
消火器と住宅用火災警報器を売りに来たけど、
本当に消防署の人ですか？

A

消防署員は公務員だ。公務員が訪問販売をすることは絶対にないぞ！ 「消防署の方から来た」「消火器の期限が切れていると法律違反になる」など巧みな話術にだまされてはいけません。そのような人が来たときは絶対に家に入れてはいけません。だまされて購入してしまった場合でも、返品できる可能性があります。

るので、消費生活センターなどにすぐ相談してください。



自分で消した小さなぼやは、119番をしなくていいですか？

A

ぼやもれつきとした火災だ。火災は全て119番通報しなければなりません。発火したときに次の2つの条件が両方当てはまる場合は、火災なんだ。

- ①人の意図に反して発生したときや放火の疑いにより発生したとき
- ②消火する必要があるとき

例えば、台所で調理中に、意図せずコンロの火に布巾が触れて燃えてしまったり、水道水で消した場合。これも火災なんだ。このように自分で消した場合でもすぐに119番通報してくれ。予防課職員が火災原因調査に行くと、火災保険など各種申請に使うために必要な「火災証明書」を交付するぞ。調査結果は今後の火災予防に生かすんだ。

火災は全て119番通報だ！



2
Special



君の防火の心が 無火災への第一歩

火災ゼロのまちにするためには、みんなの防火の心が大切だ！ 防火の心を持ったみんなとの約束と、防火に取り組む消防本部の職員のことを紹介するぞ！

防火のエキスパートとともに
火災ゼロのまちへ



消防本部予防課

消防本部には、防火のエキスパートたちがいる。予防課の職員だ。彼らは、まちに火災を起こさないためにさまざまな活動を行っているぞ。



たとえば、商業施設や危険物を扱う工場に、法律通り消防設備を設置するように指導したり、火災危険のある建物がないか調査したりして、火災の発生を食い止める活動を行っている。



火災現場では、出火原因を調べて、同様の火災が発生しないよう予防策につなげたりもしているんだ。

この他、日頃から防火意識を持つことの大切さを伝えるため、さまざまな講習や子どもたちへの消防士体験、まちでの呼びかけなど啓発活動を実施しているぞ。

火災ゼロのまちはみんなで作るものだ。日頃から防火意識を高めてもらい、火災が1件でも減るように力を貸してほしい！

**指令で学んだ防火のことを
日々の生活で生かしてくれ！**

一度火災を起こしてしまうと、取り返しのつかないことになってしまふ。そうならないために、みんなが火災を起こさないように気を付けることが、何より大切なんだ。

今回、私と一緒に学んだことを忘れず、ぜひ日々の生活の中で実践してくれ！ ファイアーXとの約束だ。



事前の準備が 火災を防ぐ

井野 義悦
消防本部予防課
課長



どんな家であっても火災が起こる可能性はゼロではありません。しかし、火災の特徴や防火対策を知ること、その可能性をゼロに近づけることができます。また、防火機器を用意しておくことで、火災が起きても、被害を最小限に抑えることができます。今回の特集をきっかけに各家庭で火災への備えを強化してみたいかがでしょうか。

3月1日(水)～7日(火)は「春の全国火災予防運動」期間です。市でも、3月7日(火)の午後1時半～3時半にアピタ大府店で火災予防の啓発活動を行います。啓発活動ではファイアーXや予防課職員など防火のエキスパートに会うことができます。この機会に防火についての心配事など、ぜひ相談しに来てください。